

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県芳賀町	09345	3	平成20年度～ 平成22年度	平成20年度～ 平成22年度
活性化計画の区域				
当該区域は、芳賀町全域の内、市街化区域を除いた区域で、東西の台地と中央部に位置する平野部の水田地帯からなる農地の区域である。 区域は、当町の市街化区域を除いた面積で設定している。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する遊休農地の解消	38.6ha	38.6ha	100%	

(コメント)
地域の遊休農地の分布状況を把握し、各地域における発生要因を分析することで土地所有者への指導や認定農業者への利用集積の促進を行い、その結果、遊休農地面積は目標値に対して21.4ha(55.5%)減少した。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
遊休農地解消支援	・検討会の開催 ・農地パトロール ・宣伝、啓蒙 ・先進地視察 ・遊休農地再生活用			芳賀町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
芳賀町	H20	H22		
事業の効果				
遊休農地解消対策推進運動や普及啓発活動により農地の遊休率が減少、さらに定住者数(農家数)の減少を抑えるとともに、H20-2人、H21-4人、H22-7人が新規就農し地域の活性化が図られた。				

3 総合評価

(コメント)
今後とも、町、農業委員会、その他関係団体と連携し農地パトロール等を実施することで、遊休農地の解消と発生防止に努め、地域農業の振興を図り、農家数の減少を抑制する。

4 第三者の意見

(コメント)
農地パトロール等の遊休農地現地調査から遊休農地の実態を把握し、発生要因をを検討したうえで、地域内を中心とした担い手等へのあっせん等により遊休農地の解消対策を講じることができる。この活動は、農地利用を図るうえで効果的であるとともに、継続することが必要と思われる。